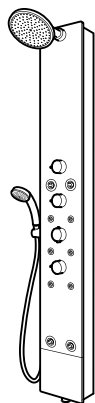


シャワーパネル

BF-W11T型
BF-W12T型

取扱説明書

このたびは当社商品をお買い求めいただき誠にありがとうございました。
ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
お読みになった後もすぐ取り出せる場所に大切に保管してください。



この説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。
不適切な使用により事故が生じた場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
転居される場合、次に入居される方にこの説明書と保証書をお渡しく下さい。

工事店様へのお願い

貴店名ならびに据付引渡し日を保証書にご記入の上、お客さまに必ずお渡しください。
また、定期的に交換が必要な部品があることをお客さまに必ずお伝えください。

■ 安全上のご注意	1
■ 各部の名称	6
■ ご使用の前に	7
■ ご使用方法	9
■ 凍結の恐れがある場合	17
■ 日常のお手入れ	20
■ 定期的なお手入れ	20
■ 定期的な部品交換のお願い	23
■ 修理を依頼される前に	24
■ アフターサービスについて	27

保証書 …………… 裏表紙

はじめに

つかいかた

お手入れ

こんなときは

安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、状況により重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

用語および記号の説明

警告 …… 「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」

注意 …… 「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか又は物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」



…… 「注意しなさい！」（上記の『警告』、『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）



…… 「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）



…… 「分解してはいけません！」



…… 「指示した場所には触れてはいけません！」



…… 「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

⚠ 警告：ヤケドをしないために

 <small>(禁止)</small>	<p>小さいお子さまだけの使用は避けてください。 ※ヤケドやケガをする恐れがあります。</p>	
 <small>(指示)</small>	<p>ストレーナーの掃除をする際は、いきなりストレーナーを緩めずに流量調節栓を閉めてから行ってください。(P.20参照) ※閉じずに作業を行うと、湯・水が噴出してヤケドをしたり、家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。</p>	
 <small>(禁止)</small>	<p>高温の湯をお使いのときには、吐水口（キャップ）は高温になっています。直接、肌を触れないようにしてください。 ※ヤケドをする恐れがあります。</p>	
 <small>(指示)</small>	<p>定期的に配管の漏水やガタツキがないか確認してください。 ※部品破損によりヤケドやケガをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。</p>	
 <small>(指示)</small>	<p>温度調節ハンドルの表示で湯温を確かめた後、吐出してください。 ※高温の湯が出てヤケドをする恐れがあります。</p>	
 <small>(指示)</small>	<p>40°C以上の湯をお使いの後は水栓内に高温の湯が残らないように、必ず温度調節ハンドルを40°C以下に戻し、しばらく水を流してください。 ※次に使用するとき、いきなり高温の湯を浴び、ヤケドをする恐れがあります。</p>	
 <small>(指示)</small>	<p>温度調節ハンドルを急に回すと、温度が急上昇することがありますので温度調節ハンドルはゆっくり回してください。 ※ヤケドをする恐れがあります。</p>	
 <small>(指示)</small>	<p>本製品にはハンドルが4つあります。お使いになる前にどのハンドルか確認してください。 ※間違えると意図しない箇所から吐水され、不意に水をかぶったり、ヤケドをする恐れがあります。</p>	




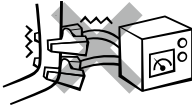
⚠ 警告：ヤケドをしないために

 (指示)	<p>オーバーヘッドシャワー、ボディシャワーをお使いになる際は、必ず温度確認を行ってからお使いください。(P10、P12参照) ※いきなり冷たい水が出たり、熱い湯を浴びてヤケドをする恐れがあります。</p>	
 (禁止)	<p>給湯器の給湯温度設定は85℃より高温でご使用しないでください。 ※水栓が破損し、ヤケドや家財を濡らす恐れがあります。なお、誤動作などによるヤケド防止のため、60℃給湯をおすすめします。</p>	
 (指示)	<p>給水圧力は必ず給湯圧力以上にご確認ください。 ※正常な調節ができなくなり、ヤケドをする恐れがあります。</p>	<p>給水圧力 ≥ 給湯圧力</p> 
 (指示)	<p>シャワーをお使いになる前に必ず素手で適温であることを確かめてください。 ※高温の湯が出て、ヤケドをする恐れがあります。</p>	
 (禁止)	<p>スイッチシャワー付の場合、スイッチシャワーの吐水スイッチを誤って押さないでください。 ※いきなり高温の湯が出てヤケドをする恐れがあります。</p>	
 (禁止)	<p>スイッチシャワー付の場合、スイッチシャワーを乱暴に床に置いたり、落としたりしないでください。 ※吐水スイッチが押され、いきなり高温の湯が出てヤケドをする恐れがあります。</p>	
 (指示)	<p>スイッチシャワー付の場合、使い始めの際に、吐水スイッチを押してからハンドシャワー・吐水口切替ハンドルをシャワー側に回してください。 ※一時止水スイッチを押した状態でシャワー側になると、一瞬シャワーが出るためヤケドをする恐れがあります。</p>	




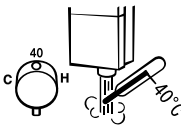
⚠ 注意：正しくお使いいただくために

 <small>(禁止)</small>	<p>オーバーヘッドシャワーや水栓本体に、ぶら下がったり登ったりしないでください。 ※破損してケガをしたり、漏水や故障の原因となります。</p>	
 <small>(禁止)</small>	<p>シャワーヘッドを落としたり、ぶつけないでください。 ※シャワーヘッドにキズがつき、ケガをする恐れがあります。 ※機能部品が衝撃で破損し、漏水や故障の原因になります。 ※タイルに割れ、欠け、キズが生じ、ケガをする恐れがあります。 シャワーヘッドにキズが生じた場合は、LIXIL修理受付センターに修理、交換を依頼してください。(P27参照)</p>	
 <small>(禁止)</small>	<p>修理技術者以外の方は絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。 ※ケガをしたり、故障・破損の恐れがあります。</p>	
 <small>(禁止)</small>	<p>衝撃をあたえたり、もたれかかたりしないでください。 ※破損してケガをしたり、漏水や故障の原因となります。</p>	
 <small>(指示)</small>	<p>ハンドル操作の急閉止は配管からの漏水を起すことがありますので、ゆっくり操作してください。 ※漏水で家財等を濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	
 <small>(指示)</small>	<p>日頃から、ときどき温度調節ハンドルを回してください。 ※温度調節ハンドルを長期間回さずに使用すると、機能部に水あかなどが付着し、温度調節機能が損なわれる恐れがあります。</p>	
 <small>(禁止)</small>	<p>シャワーヘッドを浴槽・洗面器等に浸さないでください。 ※一度吐水された湯水等が一次側配管に逆流する可能性があります。</p>	

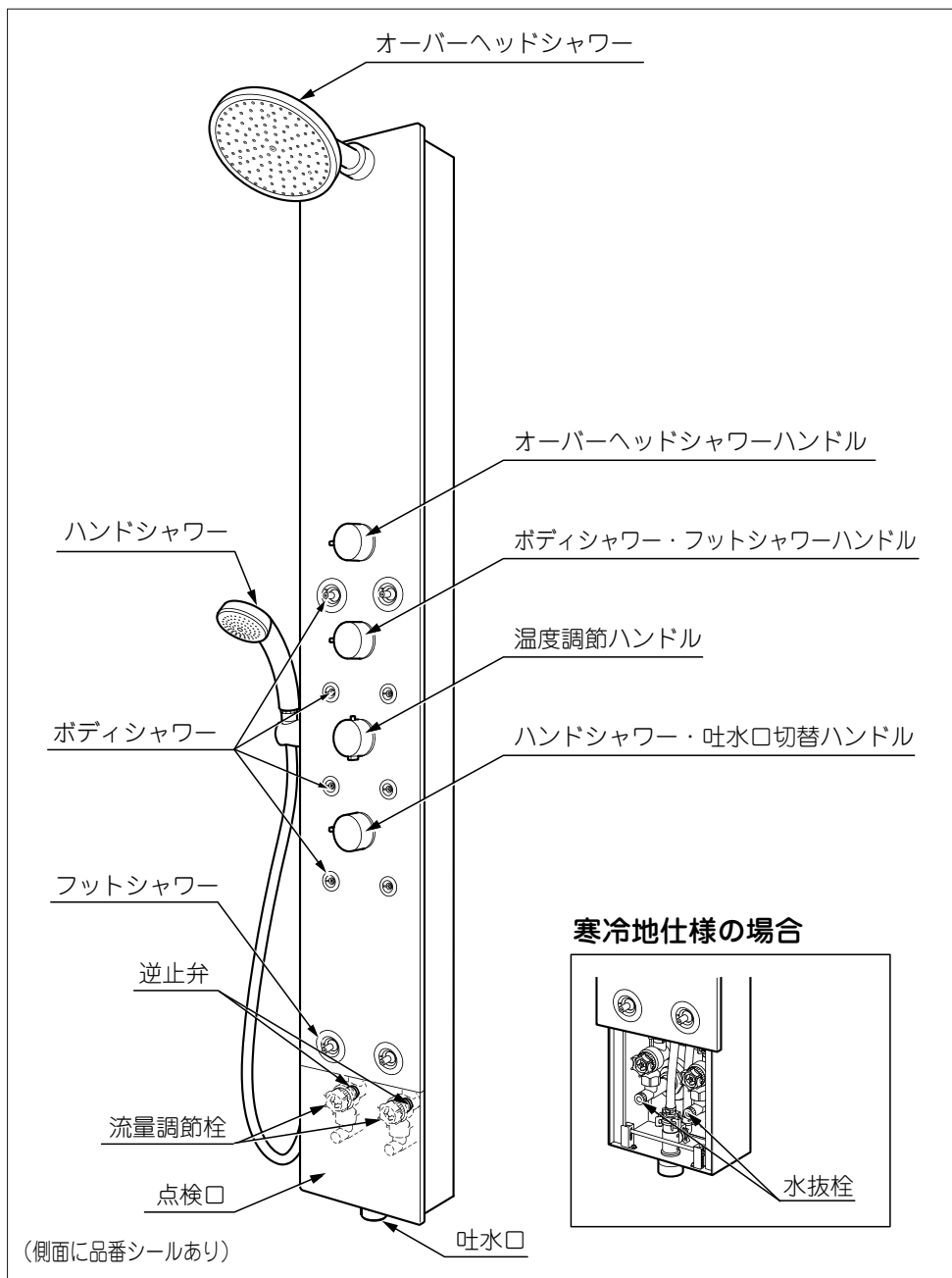
⚠ 注意：正しくお使いいただくために

 <small>(禁止)</small>	<p>【寒冷地仕様の場合】 水抜き栓は水抜き以外の目的で開けないでください。 ※湯水が噴き出し、ヤケドや家財を濡らす財産損害発生 の恐れがあります。</p>	
 <small>(禁止)</small>	<p>【寒冷地仕様の場合】 凍結時に解氷機をご使用の際、水栓本体部には絶対に通電しないでください。 ※発熱により水栓内部の樹脂部品が破損し、家財等を濡らす財産損害発生 の恐れがあります。</p>	

⚠ 注意：凍結防止のために

 <small>(禁止)</small>	<p>【一般地仕様の場合】 凍結が予想される際は、室内を保温して氷点下にならないようにしてください。 【寒冷地仕様の場合】 配管の水抜き操作と水栓の水抜き操作を行ってください。(P.17参照) ※凍結破損で漏水し、家財等を濡らす財産損害発生 の恐れがあります。</p>	
 <small>(禁止)</small>	<p>凍結した場合は解凍後温度調節ハンドルの目盛“40”と吐水温度が確認してください。 ※凍結すると、本体内の部品が破損し、設定温度がずれてヤケドをする恐れがあります。</p>	

各部の名称



ご使用の前に

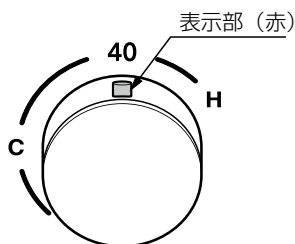
ガス給湯器と組み合わせてご使用の場合


- 給湯器の設定温度は使用する最高温度より10℃以上高く設定してください。おすすめの設定温度は60℃です。
- 給湯温度が変わると温度調節ハンドルの設定がズレて、表示通りの温度の湯が出なくなる場合がありますので注意してください。
- 流量を絞って使用すると給湯器が着火しない場合があります。
※市販の節水シャワーと組み合わせる場合は、あらかじめ給湯器の作動流量をご確認の上ご使用ください。

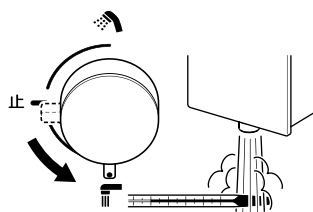
吐水温度の確認

温度調節ハンドルは工場で設定していますが、使用条件(給水・給湯圧力、給湯温度)が異なると、表示通りの温度が出ないことがあります。吐水温度が表示通りになっているか以下の要領で確認してください。

1. 温度調節ハンドルの表示部(安全ボタン)を目盛「40」に合わせる。



2. ハンドシャワー・吐水口切替ハンドルを「 (吐水口)」側全開にして吐水温度を測る。



適温(約 40℃)である



そのままお使いいただけます。

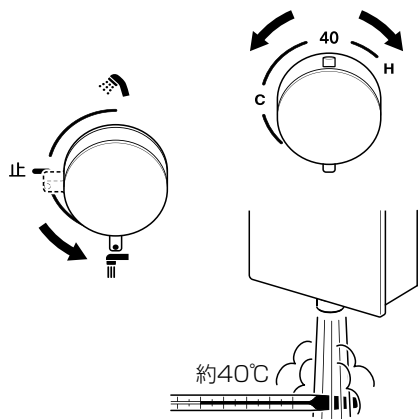
適温からズレている



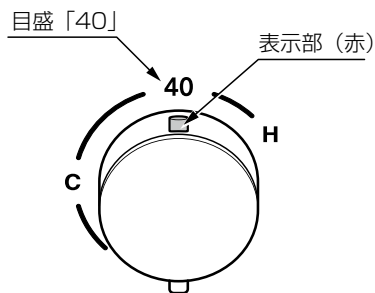
P.8の「温度調節ハンドルの設定」を参照に設定し直してください。

温度調節ハンドルの設定

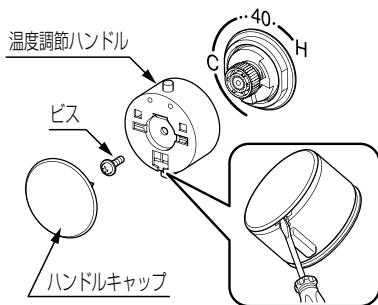
1. 全開吐水し、目盛に関係なく吐水温度が適温（約40℃）になるように温度調節ハンドルを回して合わせます。



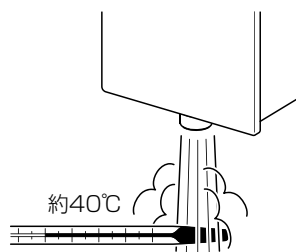
3. 抜き取った温度調節ハンドルの表示部（安全ボタン）が目盛「40」に合うように温度調節ハンドルをはめて、ビスを締め、ハンドルキャップをはめ込む。



2. 吐水温度が適温（約40℃）になったところで止水し、**温度調節ハンドルが回らないように**に注意しながら、ハンドルキャップ、ビスを外し、温度調節ハンドルを抜き取る。



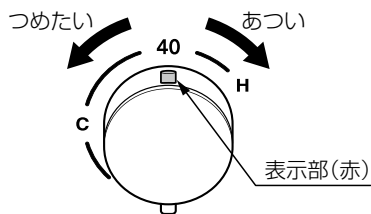
4. 適温（約40℃）の湯が出ることを確認する。



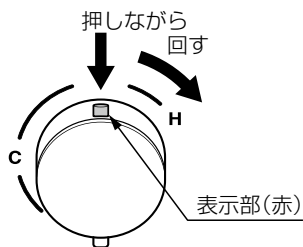
ご使用方法

温度の調節

目盛「40」を目安として温度調節ハンドルを回し、表示部（安全ボタン）を温度表示に合わせます。



温度調節ハンドルを高温側に回すと、安全ボタンの働きで目盛「40」付近で一度止まります。お湯の温度を更に取り上げたい場合は、表示部（安全ボタン）を押しながら回してください。



ポイント

◆より快適にご使用していただくために◆

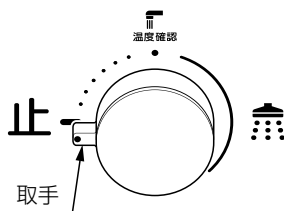
給水温度は「夏は温かく」「冬は冷たく」というように季節によって一定ではありません。このため給水温度の変化に連れて、吐水温度がハンドルの温度表示とズれることがあります。

この場合、給湯器の設定温度を「夏は低く」「冬は高く」調節していただくことでズレが少なくなり、いつでも快適にご使用いただけます。

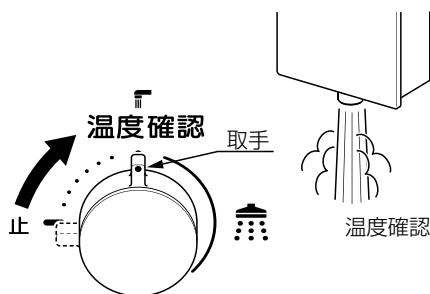


オーバーヘッドシャワーの吐水

オーバーヘッドシャワーハンドルの
取手と切替表示の「止」が合っ
ているときに**止水位置**です。



オーバーヘッドシャワーハンドルを
上(☰ 温度確認側)に回して、**吐水温
度を確認します**。ハンドルの取手が
「温度確認」の位置にあるときは、
吐水口から吐水され温度の確認が
できます。



注意

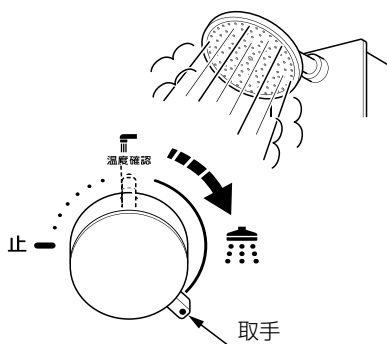
「温度確認」の位置で吐水温度が
適温であることを確認してください。

※確認せずにシャワーを吐水すると、いき
なり冷たい水が出たり、熱い湯を浴びて
ヤケドをする恐れがあります。

さらに右(☷側)に回すとオーバー
ヘッドシャワーから吐水されます。
右いっぱいまで回すと流量が最大
になります。

ポイント

温度確認した後も、出始めに一
瞬だけ冷たい水が出ます。身体に
直接浴びないようにハンドルをゆっ
くりと回してください。



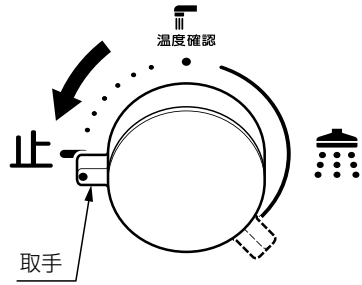
注意

- 使用後は、オーバーヘッドシャワーハンドルを左いっぱいまで回し、必ず「止」に戻してください。

※「止」に戻さないと、吐水口から水が出っぱなしになります。

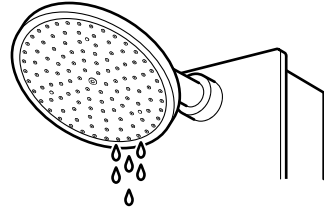
- 各シャワーを同時に使用しないでください。

※流量が不足して、満足に吐水されなくなります。




ポイント

シャワーを止めたあとも、少しの間シャワーから水が出ます。シャワー内部の残留水を排出させているためで故障ではありません。




ボディシャワー・フットシャワーの吐水

ボディシャワー・フットシャワーハンドルの取手と切替表示の「止」が合っているときに止水位置です。

ボディシャワー・フットシャワーハンドルを上（ 温度確認側）に回して、吐水温度を確認します。ハンドルの取手が「温度確認」の位置にあるときは、吐水口から吐水され温度の確認ができます。

注意

- 「温度確認」の位置で吐水温度が適温であることを確認してください。
※確認せずにシャワーを吐水すると、いきなり冷たい水が出たり、熱い湯を浴びてヤケドをする恐れがあります。

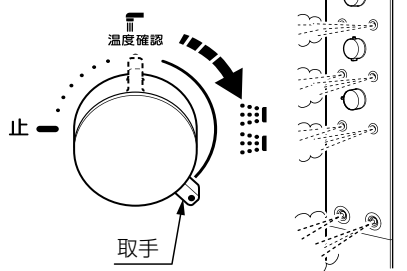
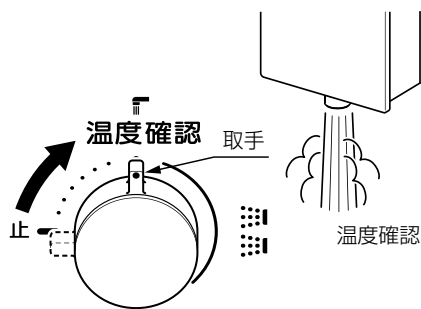
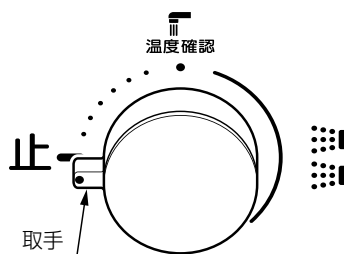
さらに右（ 側）に回すとボディシャワー・フットシャワーから吐水されます。右いっぱいまで回すと流量が最大になります。

注意

- ノズルの向きを確認してから吐水してください。
※顔にかかることがあります。

ポイント

- ボディシャワーとフットシャワーは同時に吐水されます。
- 温度確認した後も、出始めに一瞬だけ冷たい水が出ます。身体に直接浴びないようにハンドルをゆっくりと回してください。



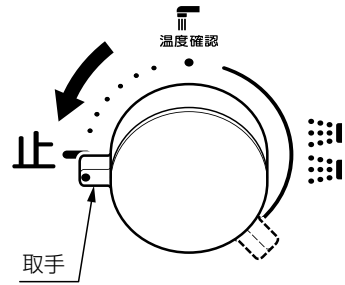
注意

- 使用後は、ボディシャワー・フットシャワーハンドルを左いっぱいまで回し、必ず「止」に戻してください。

※「止」に戻さないと、吐水口から水が出っぱなしになります。

- 各シャワーを同時に使用しないでください。

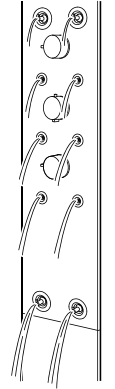
※流量が不足して、満足に吐水されなくなります。



ポイント

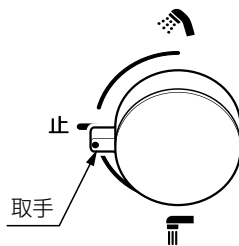
- シャワーを止めたあとも、少しの間シャワーから水が出ます。水栓内部の残留水を排出させているためで故障ではありません。

- ボディシャワー・フットシャワーは、オーバーヘッドシャワーやハンドシャワーに比べ体感的に温度が低く感じられることがあります。お使いになる前に温度調節をしてください。

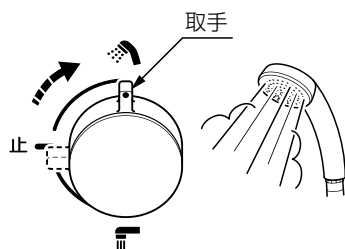


ハンドシャワーと吐水口の切替

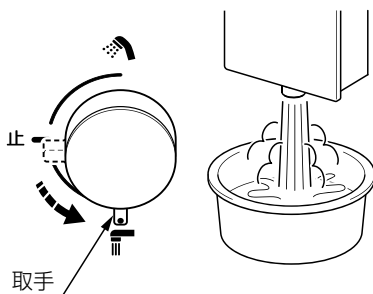
ハンドシャワー・吐水口切替ハンドルの取手と切替表示の「止」が合っているときに**止水位置**です。



ハンドシャワーを使用するときはハンドシャワー・吐水口切替ハンドルを上(🚿側)に回します。上いっぱいまで回すと流量が最大になります。



吐水口を使用するときはハンドシャワー・吐水口切替ハンドルを下(🚰側)に回します。下いっぱいまで回すと流量が最大になります。



ポイント

シャワーを止めたあと、シャワーから水が垂れることがあります。シャワー内部の残留水が排出されるもので故障ではありません。



オーバーヘッドシャワーの吐水角度調整

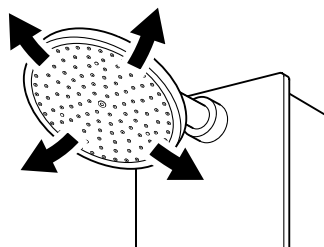
オーバーヘッドシャワーの散水板は角度の調節ができます。お好みに合わせて角度を変えてください。

注意

無理な姿勢で調節しないでください。
※ケガをする恐れがあります。

ポイント

角度によっては、ハンドルを閉めてから残留水が排出されるまで時間がかかることがあります。

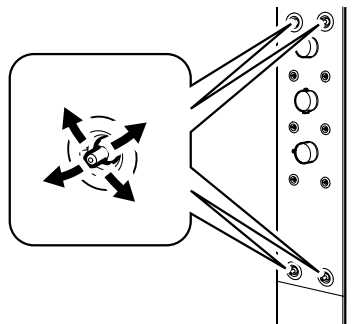


ボディシャワー・フットシャワーの吐水角度調整

ボディシャワーの最上段・フットシャワーのノズルは角度の調節ができます。お好みに合わせて角度を変えてください。

注意

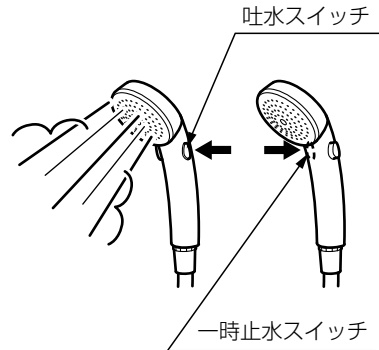
ノズルの向きを確認してから吐水してください。
※顔にかかることがあります。



シャワーヘッドによる一時止水

(スイッチシャワー付の場合)

シャワー吐水を一時的に止めたいときは、一時止水スイッチを押します。吐水を再開したいときは吐水スイッチを押します。



確認

吐水を再開するときは、手で適温であることを確かめること。

注意

- 入浴後は、必ずスイッチシャワーの吐水スイッチを押して、水栓側の切替ハンドルで止水してください。
※故障の原因になります。
- シャワー流量を十分に確保して一時止水してください。
※シャワーヘッドによる一時止水ができなくなる恐れがあります。

冬期凍結の恐れがある場合

一般地仕様の場合

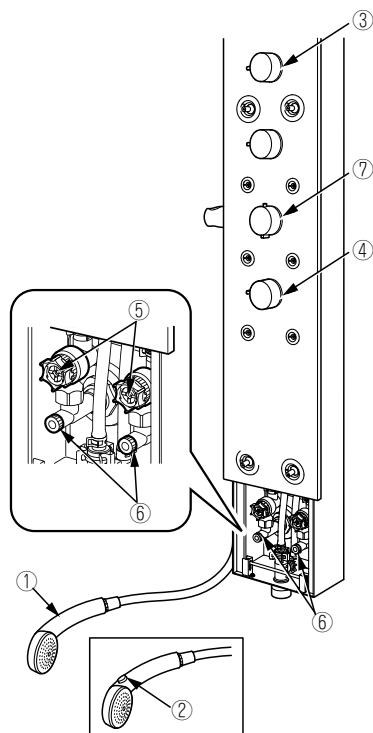
凍結が予想される場所でご使用になる場合は、以下の処置によって凍結を予防できる場合があります。

- 水栓より少量の水を出してください。
- 配管部などに保温材を巻いてください。

寒冷地仕様の場合

以下の手順に従って水抜きを行ってください。

1. シャワーヘッド①をフックにかける。
※スイッチシャワー付の場合は、吐水スイッチ(向かって右側)②を押しておく。
2. オーバーヘッドシャワーハンドル③を「温度確認」位置に回し、吐水口から吐水する。
3. オーバーヘッドシャワーハンドル③を止水位置に戻す。
4. ハンドシャワー・吐水口切替ハンドル④を「シャワー・(☼)」側へ回し、シャワーヘッド①から水を出す。
5. ハンドシャワー・吐水口切替ハンドル④を止水位置に戻す。
6. 配管の水抜栓を操作する。
7. ハンドシャワー・吐水口切替ハンドル④を「吐水口(☼)」側に回す。
8. 点検口フタを取り外す。(P.18参照)
9. 逆止弁開放ボタン⑤(2ヶ)を1分以上押す。
10. ハンドシャワー・吐水口切替ハンドル④を「シャワー(☼)」側に回す。
11. 本体の水抜栓⑥(2ヶ)を開ける。
12. 温度調節ハンドル⑦を数回「C」側から「H」側まで回す。
13. シャワーヘッド①を振って水を切り、床に静かに置く。
※再通水前には、水抜栓⑥を閉じ切替ハンドル④を再度止水位置に戻して、温度調節ハンドル⑦を「40」以下に戻しておく。



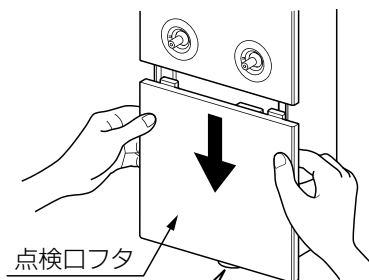
点検口フタの取り外し方

1. 両手で点検口フタの両端を掴み、下に押し下げる。

注意

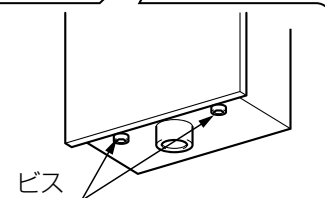
点検口フタは、必ず両手で両端を掴んで取り外してください。

※手が滑って落したり、指を挟んでケガをする恐れがあります。

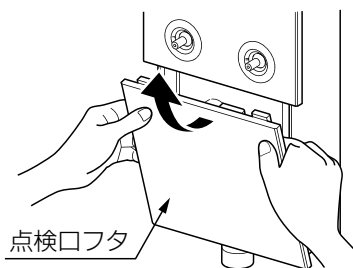


BF-W12T型の場合

取り外す前に、同梱の六角棒スパナにてビスを2箇所緩めてください。

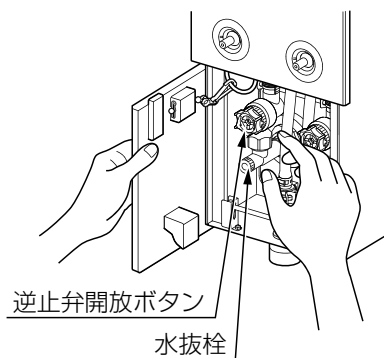


2. 点検口フタを下に押し下げた状態で手前に倒し、外す。



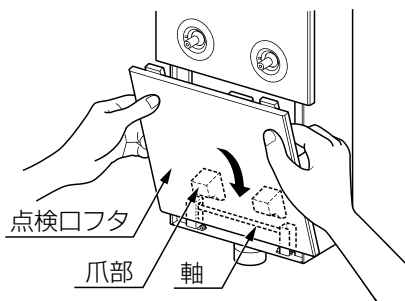
ポイント

逆止弁開放ボタン、水抜栓は点検口フタを横によけて操作してください。



点検口フタの取り付け方

1. 点検口フタの裏側の爪部を本体側の軸に引っ掛ける。

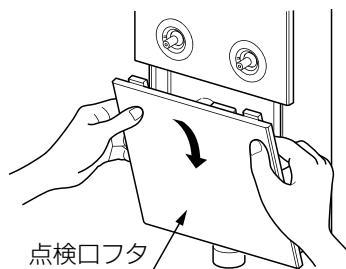


2. 両手で点検口フタの両端を掴み、下に押し下げます。

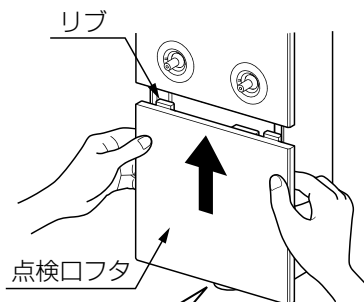
注意

点検口フタは、必ず両手で両端を掴んで取り付けてください。

※手が滑って落としたり、指を挟んでケガをする恐れがあります。

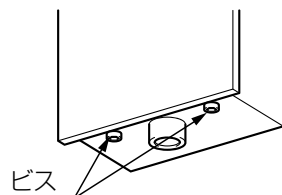


3. 点検口フタを下に押し下げた状態で、点検口フタの裏側のリブを本体側にもぐりこませ、上に上げる。



BF-W12T型の場合

最後に、同梱の六角棒スパナにてビスを2箇所締めてください。



日常のお手入れ

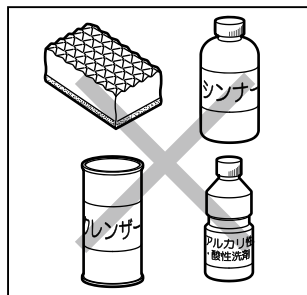
いつまでもご愛用いただくために、普段のお手入れは、以下のことに注意してください。

●汚れは、柔らかい布でふきとってください。それでも落ちないときは、柔らかい布に水または中性洗剤を加え（1%程度）、最後にからぶきしてください。

●水栓の表面を傷める恐れのある以下のものは使用しないでください。

- クレンザー、ポリバスクリーナー、磨き粉等の粒子を含んだ洗剤
- シンナー、ベンジン等の溶剤
- 酸性洗剤、アルカリ洗剤、塩素系漂白剤
- 研磨粒子入りスポンジ、ナイロンたわし、ブラシ等

※ヒビ割れや変色の原因となります。まちがって使用した場合は、すぐに水洗いをしてください。

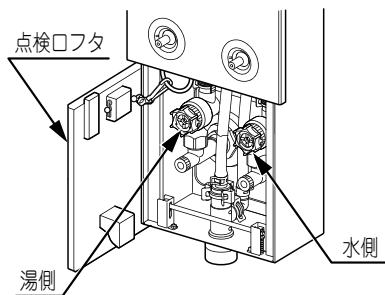


定期的なお手入れ

ストレーナーの掃除

流量が少なくなった場合はストレーナーのゴミ詰まりが考えられます。定期的に以下の要領で掃除してください。

1. 点検口フタを外す。(P.18参照)
2. 流量調節栓を閉じる。



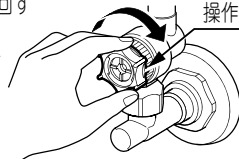
注意

湯側（赤）と水側（青）の両方を閉じてください。

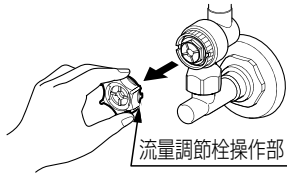
右側いっぱいまで回す



流量調節栓操作部



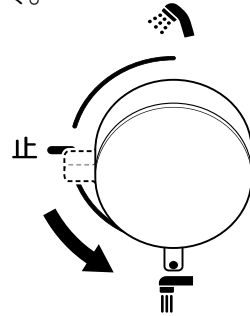
3. 流量調節栓の操作部を外す。



ポイント

操作部は流量調節栓を完全に閉じた状態でないと、取り外し、取り付けできません。

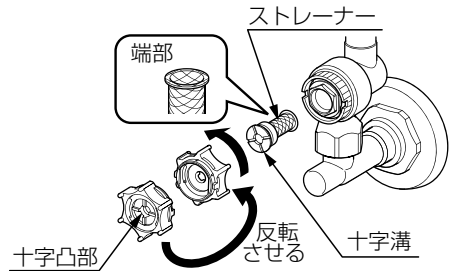
4. ハンドシャワー・吐水口切替ハンドルを「 (吐水口)」側全開にして水栓内部の圧力を抜く。



5. ストレーナーを取り外し、ゴミ等を洗い流す。

ポイント

- 操作部を反転させて、十字凸部をストレーナーの十字溝にはめて左（反時計回り）に回して外します。
- 水洗いだけで汚れが落ちにくいときは、やわらかめのブラシ等を使って落とすようにしてください。



注意

ストレーナー端部に指をふれないでください。

※ケガをする恐れがあります。

6. 元通りに取り付け、流量調節栓を元の位置まで開きます。

ポイント

ストレーナーは湯側・水側の2か所あります。両方のストレーナーを掃除してください。

7. 点検口フタを取り付けます。(P.19参照)

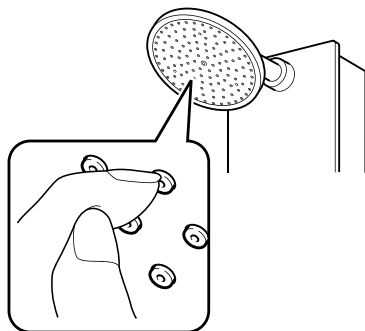
オーバーヘッドシャワー散水板の掃除

オーバーヘッドシャワーの散水板の散水穴突起部を爪でこすって、目詰まりを取ります。

注意

強く引っ張らないでください。

※ゴムが切れることがあります。



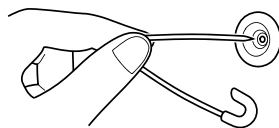
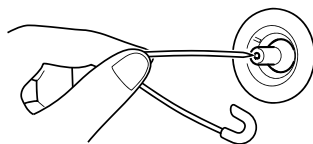
ボディシャワー・フットシャワーノズルの掃除

ボディシャワー・フットシャワーのノズルの穴を安全ピンなどで刺して、目詰まりを取ります。

注意

安全ピンは無理に奥まで挿入しないでください。

※中の部品が破損する恐れがあります。



ハンドシャワー散水板の掃除

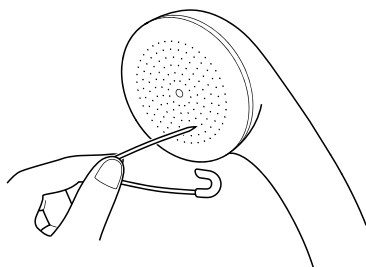
シャワーの穴を安全ピンなどで刺して、目詰まりを取ります。

※散水板を取り外せるものは、散水板を取り外したうえで目詰まりを取ることをおすすめします。

注意

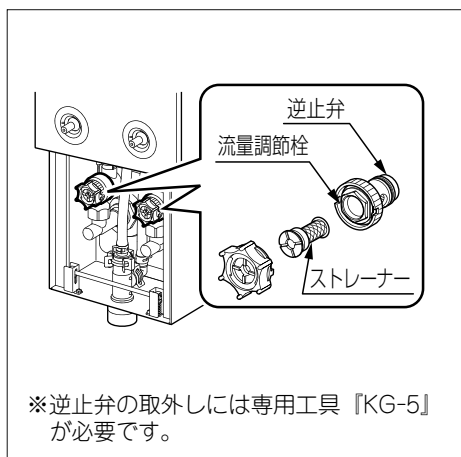
安全ピンは無理に奥まで挿入しないでください。

※中の部品が破損する恐れがあります。



定期的な部品交換のお願い

ストレーナー付逆止弁の交換



交換時期：3～5年

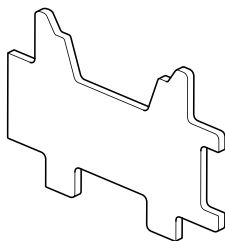
※逆止弁の交換は、お求めの取扱店またはLIXIL修理受付センターにご依頼ください。

 **0120-179-411**

LIXIL修理受付センターにご依頼の場合、修理料金は“技術料”+“出張料”+“部品代”で構成されています。

専用工具の保管のお願い

ボディシャワー・フットシャワーのノズルのメンテナンス、交換用に専用工具を同梱しています。修理の際に必要ですので、無くさずに保管してください。



専用工具

修理を依頼される前に

簡単に故障が直る場合がありますので、修理を依頼される前に以下の項目をご確認ください。

希望する吐水温度が得られない

- …➤ **流量調節栓は十分に開いていますか？**
P.26の手順1を参照にして、湯側と水側の流量調節栓が十分開いていることを確認してください。
- …➤ **切替ハンドルを絞ってお使いではありませんか？**
P.26の手順2を参照にして、切替ハンドルを全開状態で使用するために、流量調節栓を適切な流量に絞ってください。
- …➤ **ストレーナーにゴミが詰まっていますか？**
P.20・21を参照にストレーナーにゴミ詰まりがないことを確認してください。
- …➤ **給湯器は正常に動作していますか？**
給湯器の設定温度は使用する最高温度より10℃以上高く設定してください。おすすめの給湯温度は60℃です。
- …➤ **温度調節ハンドルの設定がズレていませんか？**
P.7の「吐水温度の確認」を参照にして、吐水温度が表示通りになっているか確認してください。
ズレている場合は、P.8の「温度調節ハンドルの設定」を参照にして、設定をし直してください。
- …➤ **他所で同時に水栓を使用していませんか？**
使用時には、他所の水栓を同時に使用しないようにしてください。

異音がする

- …➤ **切替ハンドルを急閉止していませんか？**
ウォーターハンマー現象が考えられます。流量が多いときに急に止水すると発生します。流量調節栓で流量を少なくするか、ゆっくりとハンドルを閉めてください。
- …➤ **流量調節栓を適切に絞っていますか？**
水圧が高いことにより発生する流水音が考えられます。P.26の手順1を参照にして、流量を絞ることで流水音を低減することができます。

異音がする

- …➔ オーバーヘッドシャワーを使用している時に、ボディシャワーハンドルが「温度確認」位置になっていませんか？
水栓の機能部が動く音で故障ではありません。ボディシャワーハンドルを「止」位置にしてからオーバーヘッドシャワーを使用してください。

流量が多い

- …➔ 流量調節栓を適切に絞っていますか？
P.26の手順1を参照にして、湯側と水側の流量調節栓が適切に絞られていることを確認してください。

流量が少ない

- …➔ 流量調節栓は十分に開いていますか？
P.26の手順1を参照にして、湯側と水側の流量調節栓が十分開いていることを確認してください。
- …➔ ストレーナーにゴミが詰まっていますか？
P.20・21を参照にストレーナーにゴミ詰まりがないことを確認してください。
- …➔ シャワーヘッドの散水板・ノズルにゴミが詰まっていますか？
P.22を参照に散水板の掃除を行ってください。
- …➔ 給湯器の設定温度は正しいですか？
給湯器の設定温度が低いと流量が少ないことがあります。
給湯器の設定温度を使用する最高温度より10℃以上高く設定してください。おすすめの設定温度は60℃です。

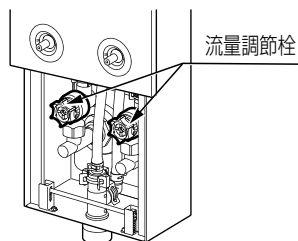
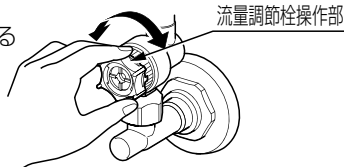
止水したのに水が止まらない

- …➔ オーバーヘッドシャワー、ボディシャワー・フットシャワーは水を止めたあと少しの間水が出ます。
シャワー内部の残留水を排出するもので故障ではありません。
数分間止まらない場合は、ハンドルが完全に閉まっているか確認してください。

流量調節栓の調整

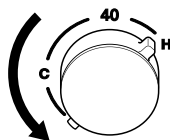
手順1 流量調節栓を調整する

開く ← 閉じる

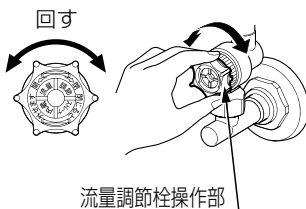


手順2 流量を調整する

1. 温度調節ハンドルを「C」側いっぱい
に回す。



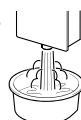
3. 水側（青）の流量調節栓を調整する。




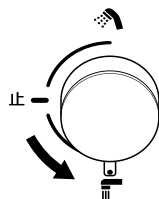
ポイント

調節の目安

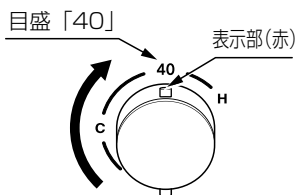
洗面器をいっぱいにするのに約10秒弱(=20L/分程度)。



2. ハンドシャワー・吐水口切替ハンドルを「 (吐水口)」側全開にする。




4. 温度調節ハンドルの表示部（安全ボタン）を目盛「40」に合わせる。



5. 水側と同様に湯側（赤）の流量調節栓を調整する。

以上の確認を行っていただいても問題が解決されない場合は、取扱店またはLIXIL修理受付センターまで修理を依頼してください。

※LIXIL修理受付センターにご依頼の場合、修理料金は“技術料”+“出張料”+“部品代”で構成されています。

 0120-179-411

アフターサービスについて

修理サービスを依頼される前に

「修理を依頼される前に」の項（P.24）を参照して確認してください。

⚠ 注意

修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理・改造はしないでください。
※ケガをしたり、故障・破損の恐れがあります。



- 水を止めた後もしばらくの間シャワーヘッドからポタポタと水滴が落ちるときシャワーヘッド内部に溜まっている水が排出されるため、故障ではありません。しばらくすると止まります。

保証書と保証期間

この取扱説明書には保証書がついています。取扱店で所定事項を記入してからお渡しいたしますが、取扱店の記入がない場合は取扱店にご連絡ください。記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間は**取付けの日から2年間**です。

保証期間内でも有料になることがありますので、保証書の記載内容をよくご確認ください。

修理を依頼されるとき

《保証期間中は》

修理に際しては、保証書の規定に従って修理させていただきます。

《保証期間が過ぎているときは》

修理すれば使用できる商品については、ご希望により有料にて修理させていただきます。

《修理料金は》

“技術料” + “出張料” + “部品代” で構成されています。

《ご連絡していただきたい内容》

1. ご住所、ご氏名、電話番号
2. 商品名
3. 品番（商品に表示、「各部の名称」の項（P.6）参照）
4. ご購入日
5. 故障内容、異常の状況
6. 訪問ご希望日

部品の保有期間について

当社は商品の補修用性能部品（商品の機能を維持するために必要な部品）を製造打切り後最低10年間保有しています。**この部品保有期間を修理対応可能な期間とさせていただきます。**保有期間が経過した後でも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、ご相談ください。

アフターサービス等についておわかりにならないとき

《修理のご依頼は》お求めの取扱店または
LIXIL修理受付センターまで（ホームページアドレス <http://www.lixil.co.jp/support/>）

TEL ☎ **0120-179-411** 受付時間 9:00～19:00 365日受付

FAX ☎ **0120-179-456**

《使い方・お手入れ方法等、商品についてのお問合せは》
お客さま相談センターまで

TEL ☎ **0120-179-400** 受付時間 平日 9:00～18:00

FAX ☎ **0120-179-430** 土日・祝日 9:00～17:00
(夏期、年末年始の休みは除く)

当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。
個人情報の取り扱いについての詳細は、当社ホームページの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

MEMO

MEMO

保証書

本書は、本書記載内容で、無料修理を行うことをお約束するものです。下記保証期間内に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い求め取扱店に修理をご依頼ください。

※品番・取付日・お客さま・取扱店の欄に記載のない場合は、無効になります。

品名：シャワーパネル		(品番：)	
保証期間	取付日より2ヶ年	取付日	年 月 日
お客さま	おなまえ	無効	別名
	おところ		
	おでんわ		TEL () -
<p>お客さまへ ・保証書は再発行しませんので、紛失されないよう大切に保管してください。 ・お客さまにご記入いただくこの保証書の個人情報につきましては、保証期間内の無料修理対応およびその後の安全点検活動のために利用させていただきます。</p>			

無料修理規定 (保証規定)

- 「取扱説明書」・「ラベル」などの注意書に従った正常な使用・維持管理状態で、保証期間内に故障した場合、無料修理いたします。
- 無料修理をお受けになる場合、お買い求めの取扱店にご依頼のうえ、本書をご提示ください。
- ご転居、ご贈答品などで、本書に記載の取扱店に修理を依頼できない場合は、取扱説明書に記載のお客さま相談センターまたはLIXIL修理受付センターにご相談ください。
- 保証期間内でも、以下の場合、有料修理とさせていただきます。(免責事項)
 - 用途以外(車両、船舶及び使用頻度が極度に高い業務用等)に使用した場合の故障及び損傷等の不具合
 - 指定業者や施工説明書等に基づかない施工及び工事起因する不具合
 - お客さまが適切な使用・維持管理を行わなかった事による故障及び損傷等の不具合
 - 専門業者以外による移動・修理・分解などに起因する不具合
 - 建築躯体の変形(強度不足・ゆがみ)等製品以外の不具合に起因する当該製品の不具合
 - 経年変化使用に伴う外観上の現象(塗装の色あせ、もらい錆等)または使用に伴う消耗部品の磨耗等により生じる不具合
 - 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境及び公害環境(煤煙、塩害、砂塵、各種金属粉、硫化水素ガスなど各種ガス)に起因する不具合
 - 小動物(犬、猫、ねずみ、昆虫等)の行為または蔓(つる)や根などの植物の害に起因する不具合
 - 天災地変(火災、爆発等事故、落雷、地震、噴火、風水害、津波、地盤沈下、凍結、雪害等)に起因する不具合による故障及び損傷
 - 戦争・暴動等の破壊行為または犯罪等の不法行為に起因する破損や不具合
 - 自然現象や住環境に起因する結露・染み出し・かび等の現象
 - 消耗品(パッキン、ヒューズ、電池等)類の消耗に起因する故障および損傷などの不具合
 - 温泉水、井戸水などであって水道法に定められた飲料水の水質基準に適合しない水を給水したことに起因する故障及び損傷不具合
 - 寒冷地仕様でない製品の場合の凍結による故障及び損傷
 - 給水・給湯配管の錆、砂やごみなどの異物の配管流入及び水あか固着に起因する不具合
 - ガス・電気・給水等の供給で指定された以外の環境(異常ガス圧、異常電源・電圧・周波数、異常水圧・水質、音、振動等)に起因する故障及び損傷などの不具合
 - 保証書の期限切れまたは提示がない場合
 - 本書にお取付日・お客さまのお名前・取扱店名の記入のない場合、あるいは字句の書き替えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理を行うことをお約束するものです。従って、本書によって、お客さまの法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理など、ご不明な場合、お買い求めの取扱店または取扱説明書に記載のお客さま相談センターにお問い合わせください。
- 修理に必要な補修用性能部品の保有期間は、製造打切後10ヶ年です。
- 弊社ユニットバスルーム内に設置される場合は、ユニットバスルーム本体の無料修理規定(保証規定)に準じます。

商品のお問い合わせはお客さま相談センターまで

修理のご依頼はLIXIL修理受付センターまで

TEL ☎ 0120-179-400

FAX ☎ 0120-179-430

受付時間 平日 9:00~18:00
土日・祝日 9:00~17:00

※フリーダイヤルは携帯電話・PHS・IP電話などではご利用できない場合がございます。下記番号をご利用ください。
TEL 0562-40-4050
FAX 0562-40-4053

TEL ☎ 0120-179-411

FAX ☎ 0120-179-456

受付時間 9:00~19:00 (365日受付)

株式会社 LIXIL

ホームページアドレス <http://www.lixil.co.jp>